


# S/4 HANA環境の管理を 一緒に考えよう！



# アジェンダ

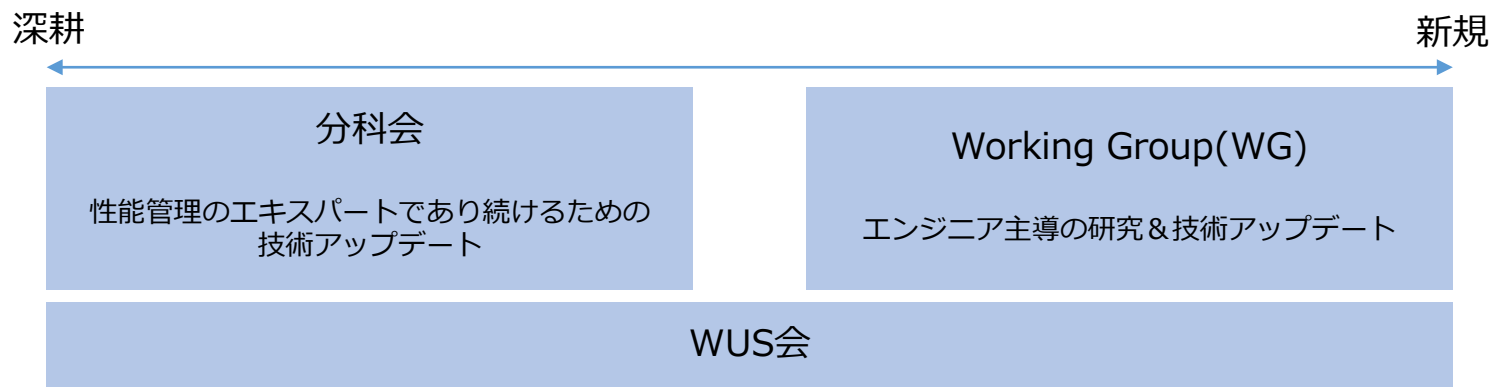
- 分科会の取組み
- SAP S/4HANAの運用管理
- まとめ

# 分科会の取組み

# エンジニアの技術力をアップデートする

- IIM内の分科会は、エンジニアをモチベートし、技術競争力を持ち続けるための活動を技術部門横断して行っています
  - 勉強会(WUS会) 隔月、技術部門全体で実施
  - ワーキンググループ(WG) 研究開発活動
  - 分科会 性能管理の知識アップデート

成果物を製品改善、セミナー、サポート充実へつなげる



# 性能管理の技術アップデートの分科会

“お客さまに相対するSEが、  
性能管理について自信をもってリードし続けられるようにしたい”

- 重点の5分野を分科会の対象に選定

領域	背景
クラウド移行後のRDBの性能管理	RDSへ水平移行ユーザは多いが、管理も同様に移行するのか。インフラの伸縮性、変更可能なパラメータが変わる中で、どこまでDB内部からの確認を行うのか。ツールとしてインフラ側(CloudWatch, PerformanceInsight)、DB側(OEM, v\$)をどう使い分けるか
HANA(Rise)移行後のSAP性能管理	RiseでインフラをSAPが提供した際に、インフラをどこまで抑える必要があるのか。HANAをどう見るのか ABAP, Java, Fioriとアプリケーションの提供形態が3種になった中、今までと同じくトランザクションモニタのみで全体が網羅できるのか。
VMwareのアップデート	Vmwareのメトリック、管理の方式のアップデート
Webアプリケーションの性能	JavaのWebAPだけでなく、インフラ・ネットワーク技術によりWebアプリの性能が実現されている
キャパシティ管理概論のアップデート	ITILv3, v4のバージョンアップ対応

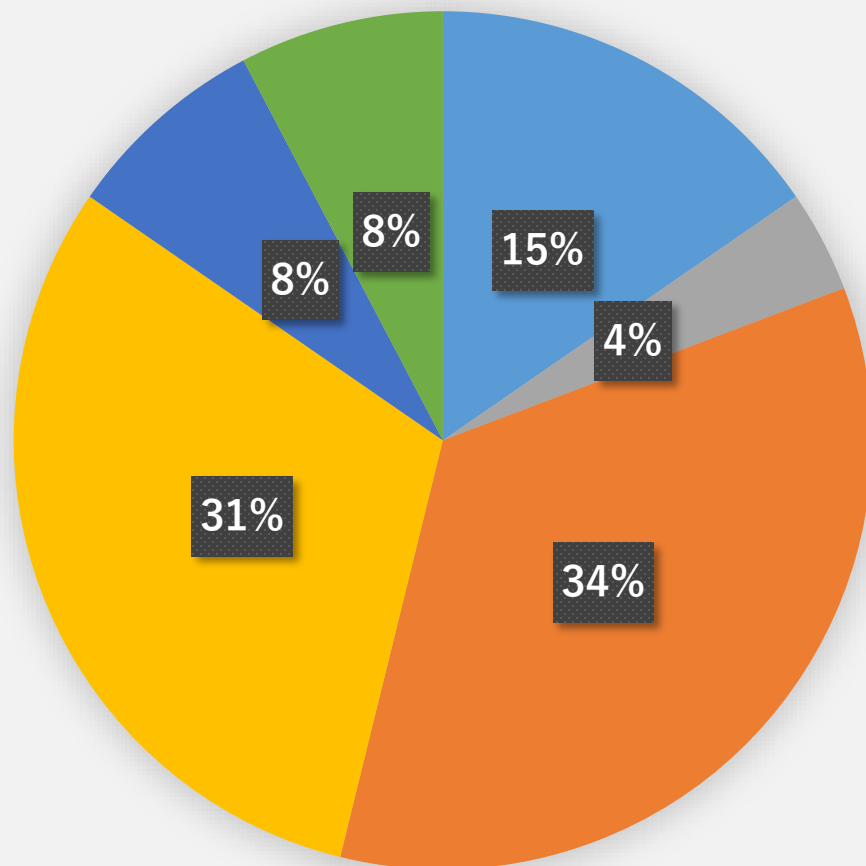
# なぜSAP S/4HANA？

- 2027年問題
  - SAP ERP 6.0は2027年末に標準保守が終了する
  - 国内多数のSAP利用ユーザは、ERP6.0 -> S/4 HANAなどへ移行を要する
- SAPをご利用の既存お客様
  - IIMは数少ないSAPの性能管理を行えるベンダー
- 刷新されたアーキテクチャへの対応
  - クラウド提供、インメモリのDB
  - 従来の知識をアップデートしないとお客さまに説明できない

# SAP S/4HANAの運用管理

# SAP S/4HANA移行状況(IIMお客様)

## S/4HANA移行状況



- 移行完了
- 移行中
- 移行検討中
- 現状維持
- 他ツールへ移行
- サポートを他ベンダーへ移行

※全体の**65%**のお客様で移行が進んでいない状況。



## システムの安定稼働のために、運用管理を行う理由

- 問題発生時の早期解決、再発防止検討のための分析・調査
- システムが安定稼働しているという根拠を提示
- システムの傾向を捉え、予兆管理をし、事前に障害を防止する

SAP S/4HANAの可視化、問題分析も同様の理由で必要

# SAP S/4HANA環境を安定運用するために監視必須項目

- **アプリケーション情報** ⇒従来のR/3で監視すべき項目を引き続き確認する必要がある
  - プログラム・ユーザ毎のレスポンス(Dialog、HTTPS、BackGround)
  - トランザクション数
  - SAP独自の仕組みによるパフォーマンス項目(WP待ち、ヒープメモリ使用など)
- **DB情報** ⇒従来のR/3とは見るべき項目が異なる
  - データ領域のメモリ使用量
  - SQL実行時のスレッド使用増加による待ち、CPU負荷増
  - その他、HANA DB特有の負荷指標
- **リソース情報**

これらを把握することで、システム安定稼働のための運用管理が可能になります。  
特に、アプリケーション情報、DB情報については、  
サーバがクラウド移行しても可視化する必要がある項目であると考えています。

# ES/1でご支援できること

## SAP S/4 HANA移行テスト

- 本番稼働後の環境により近い環境でリソース、トランザクションを突き合わせ、パフォーマンスに問題がないかを確認
- 問題があれば、どの項目で何が原因となっているかを提示
- サイジングの最終確認

## 本番稼働後

- 本番稼働後のパフォーマンスに問題がなかったか確認
- 遅延に繋がるような傾向はないか確認
- もしトラブルがある場合は、原因の特定と対応について提案

# SAPの各トランザクションを可視化する

- レスポンス時間の内訳から業務にインパクトを与えている箇所を特定し改善する



DB時間の  
業務インパクトが  
高い

# SAP全体状況ももちろん俯瞰して把握



# まとめ

## みなさんはS/4HANA、どう見たいですか？

- アーキテクチャを理解、メトリックを選定し、IIM製品として扱えるかどうか検討してきました(現在)
- これからより具体的に、製品への落とし込みを考えています(今後)

ぜひ皆様のご意見をIIMにお聞かせください。  
貴社にて検討されていること、悩まれていること、  
ディスカッションのご要望など、お声かけお待ちしております。

この後のネットワーキングパーティーにて  
「IIM技術担当者と語ろう」にて  
分科会メンバーもお待ちしております！！

ご聴講ありがとうございました